

Chapter 3

質の高い、豊富な人材

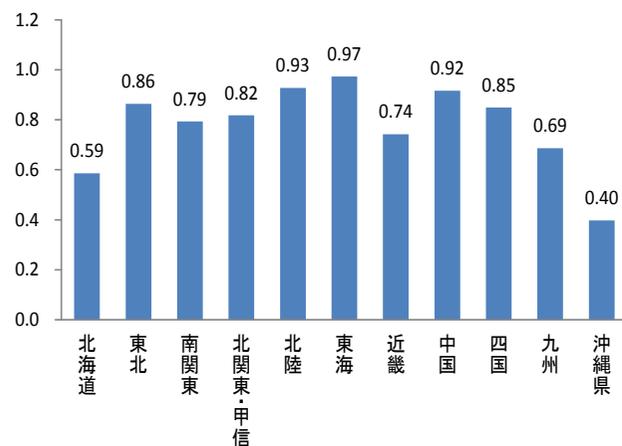
豊富で低廉な労働力が確保できる九州

大陸の製陶技術に独自の工夫を凝らした有田の磁器、西欧の技術をいち早く取り入れ明治維新の礎を築いた鹿児島尚古集成館の製鉄・造船事業など、九州は新しい技術を取り入れる進取の気質と、ものづくりを大切にする風土が根付いています。豊富で低廉な労働力はもとより、優秀な技術者など質の高い人材が確保できることが魅力です。

九州の有効求人倍率は、0.69（2012年）であり、沖縄県、北海道に次いで低い水準となっています。そのため、人材を集めることが比較的容易な地域といえます。

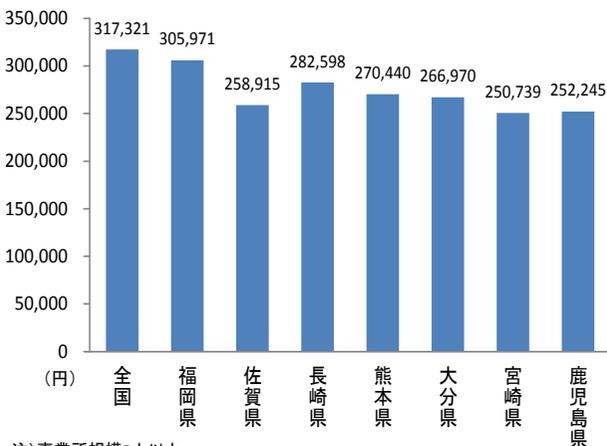
また、九州各県の現金給与総額をみると、全国に比べて水準は低く、低廉な労働力が確保できることがわかります。

各地域の有効求人倍率(2012年)



資料)厚生労働省「職業安定業務統計」をもとに作成

九州各県の現金給与総額(2010年)



注)事業所規模5人以上

資料)厚生労働省「職業安定業務統計」をもとに作成

九州のモノづくりを支える質の高い人材

九州には大学が73校、短大が40校、高専が8校など、高等教育機関が充実しています。特に、工業高校や、高等専門学校の学生数は、全国の15%以上を占めており、モノづくりを支える優秀な人材が豊富です。

また、産学官が連携して企業の技術者を講師とした授業や、自動車、半導体、電機・機械関連の大手企業へのインターン等に取り組んでおり、製造現場の中核となる質の高い人材が育っています。

技術系・高学歴学生数

(単位:人)

	工業高校	高等専門学校	大学
全国	250,363	58,765	2,876,134
北海道	8,463	4,059	90,351
東北	29,709	6,408	125,290
関東	51,357	8,038	1,283,325
東海	39,329	6,924	279,270
北陸	13,789	5,356	81,335
近畿	31,687	6,045	585,870
中国	19,625	7,234	135,974
四国	9,742	5,046	50,811
九州	42,281	8,802	224,014
全国比	16.9%	15.0%	7.8%
沖縄	4,381	853	19,894

資料)文部科学省「平成24年学校基本調査」

九州の主な産学官連携に取り組む教育機関（下線箇所は各ホームページヘリンク）

■九州大学学術研究都市（福岡市産学連携交流センター）



人文系、理工学系、農学系を集約したキャンパスを中核に、産学連携による世界レベルの知の拠点づくりを目指しています。（福岡市、糸島市）

■北九州学術研究都市（カー・エレクトロニクスセンター）



北九州市立大学、九州工業大学大学院、早稲田大学大学院、福岡県リサイクル総合研究センター等が立地。大学と企業の共同研究の推進、知的クラスターの創生、SoC 設計拠点の形成などに取り組んでいます。（北九州市）

■九州アジア経営塾（KAIL）



アジア経済を支える次世代リーダーの育成を目的に、九州の産学官 27 機関が協力し発足。（福岡市）

■立命館アジア太平洋大学院



学部生の約 4 割、大学院生の 9 割以上が留学生。アジア太平洋地域に焦点を当て、大学院では企業の経営スキルを有する人材の育成を目的とした MBA 講座を開講。（別府市）

■福岡システム LSI カレッジ



全国で初めて産学官が一体となって設立したシステム L S I 技術者の養成機関。（福岡市）

■佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター



多様な分野で利用可能なシンクロトロン光の産業応用を主目的にした全国でも初めての施設。半導体、エネルギー、環境分野での新材料評価、微細加工への応用等が進められています。（鳥栖市）